



金色の子が 校長のオナペツト になる話

基本CG 10 枚

本編 121 ページ

総枚数 363 ページ



Presented by ふうりん亭



















































































































































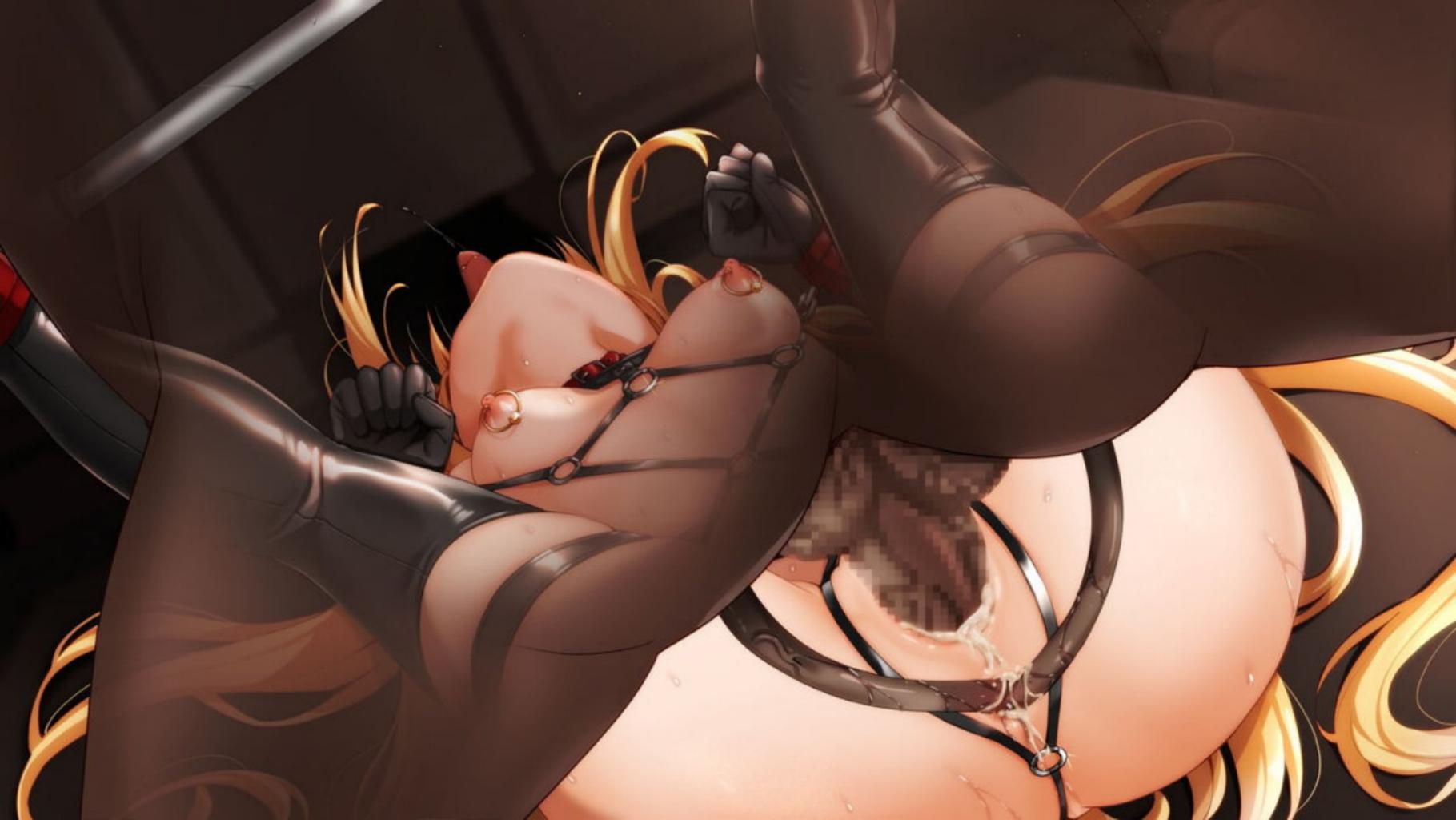
























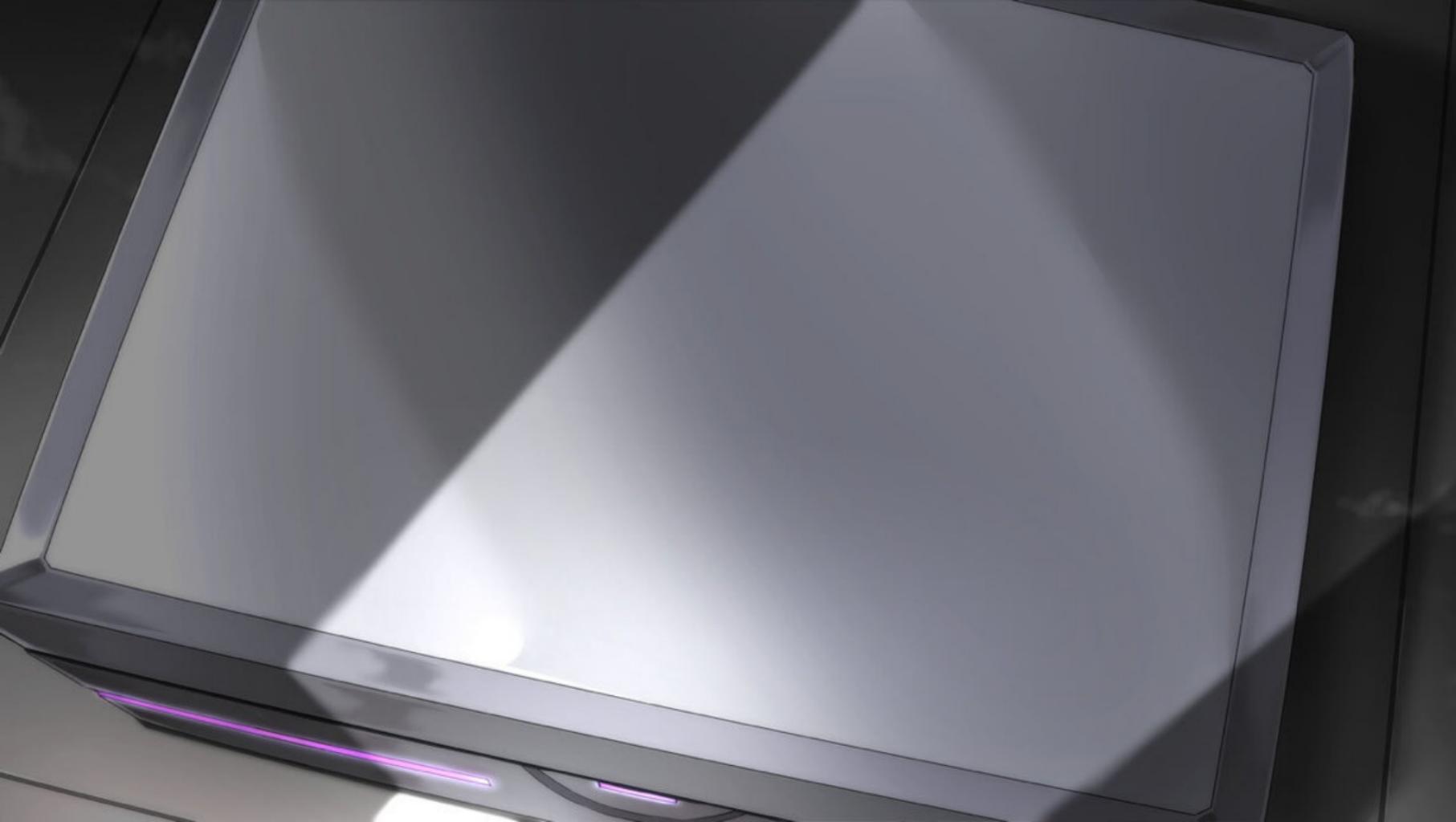






























































トモだ
トモだ



アハハハ

アハハハ

アハハハ

アハハ

アハハハハ





!!

!!

!!

!!

!!

!!



ミレーレ

ミレーレ...

ミレーレ

ミレーレ

ミレーレ







ハハハ...!

アハハハ...!

アハハハ...!





「うわー

「うわー

「うわー

「うわー

「うわー





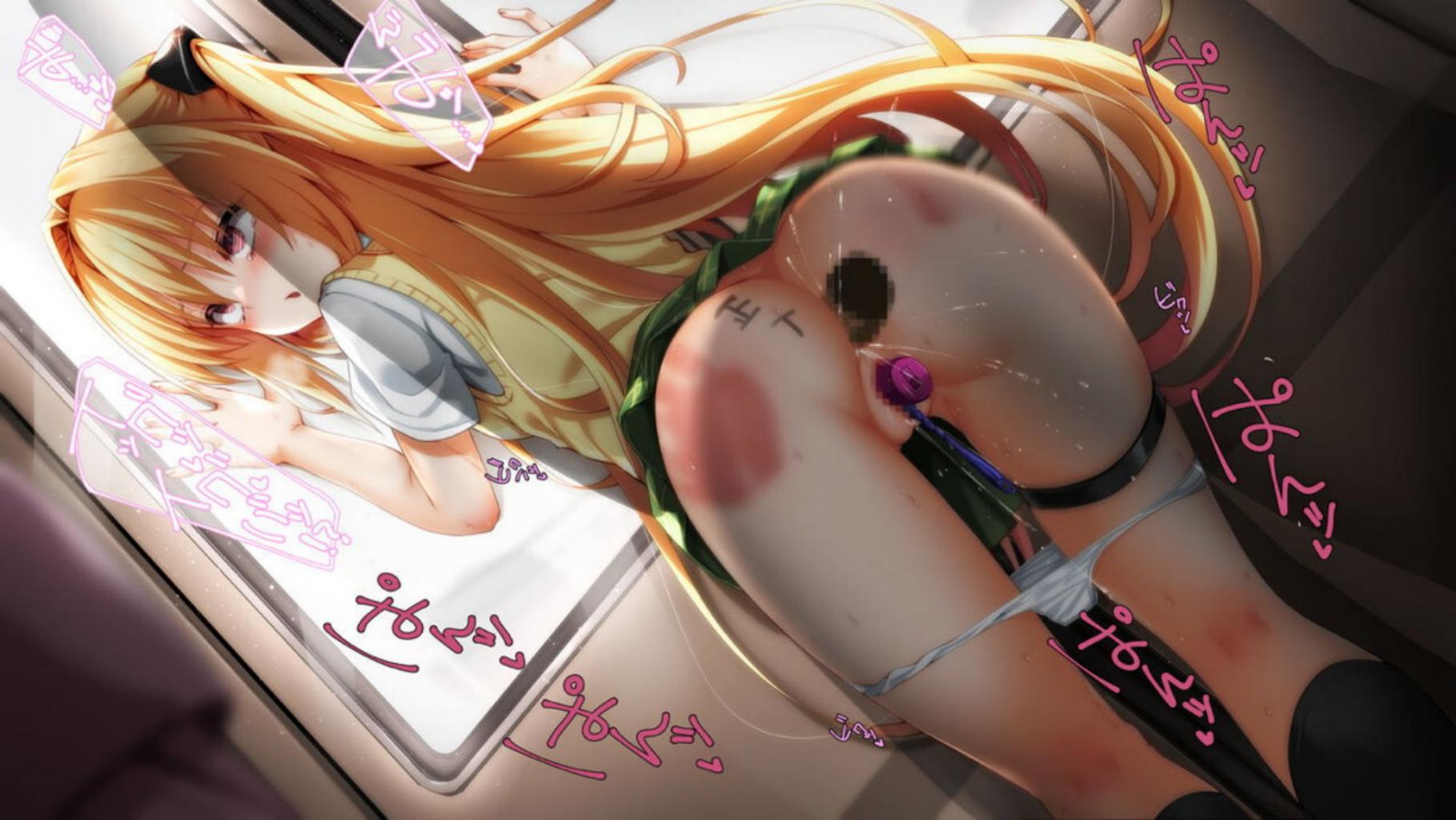
うわ…

うわ…

うわ…

うわ…

















































（ノ）
（ノ）
（ノ）
（ノ）

（ノ）
（ノ）
（ノ）

（ノ）
（ノ）
（ノ）

（ノ）
（ノ）
（ノ）

（ノ）
（ノ）
（ノ）























أَنْتَ

أَنْتَ

أَنْتَ

أَنْتَ































ダ
...
。



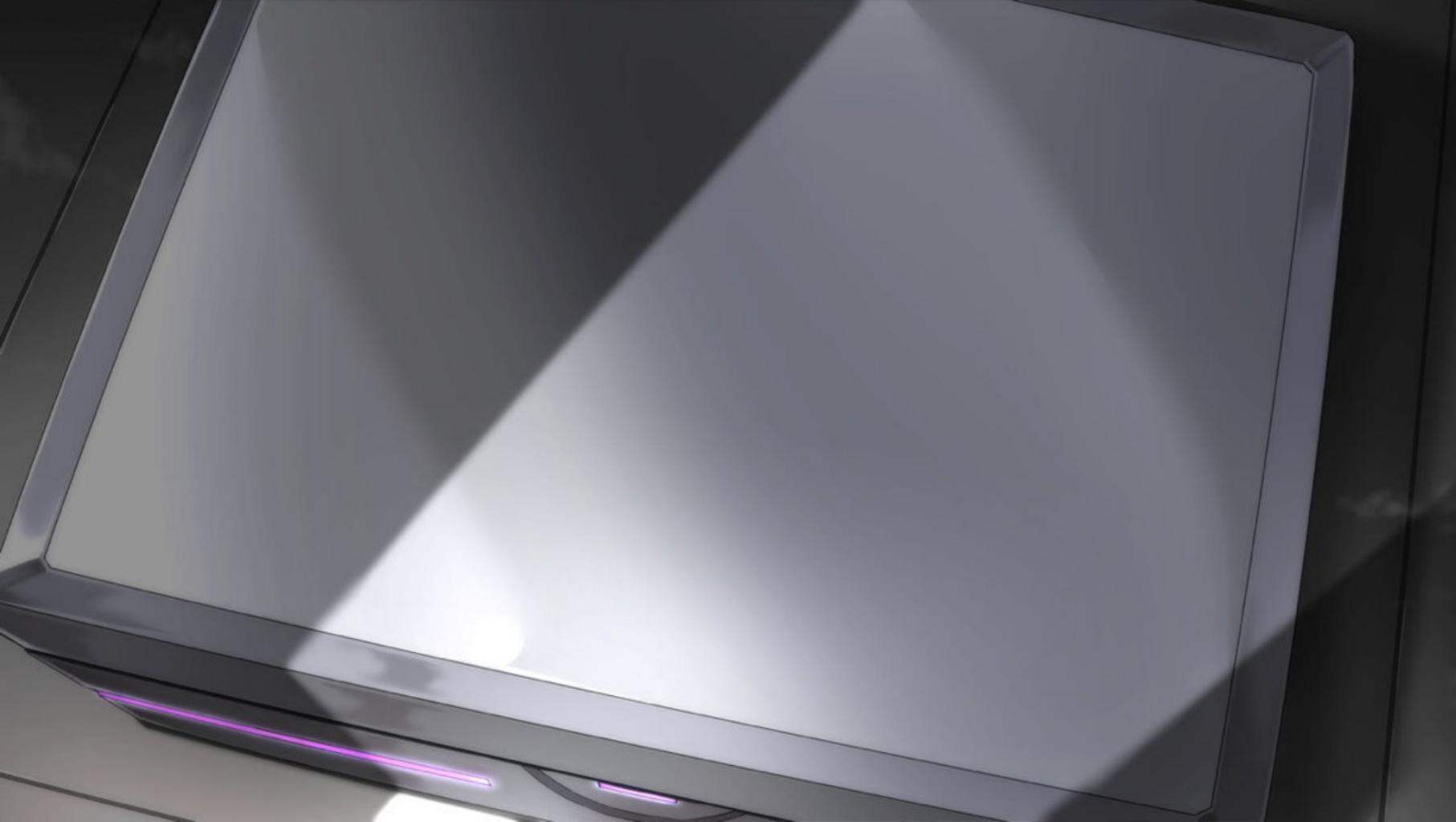








… パタ





——こんなところに飛び出して
いたい誰が：：



——ヤ——ミ——ちゅわ——ん
お待たせしました♡

あなたですか、校長
くだらない用なら帰りますよ

いえいえ大事な用ですよ♡
それでもそのゴミを見
るような視線♡
今日もカワイイですねえ♡



いいから早く要件を言ってください
私は忙しいんです

んふふ…やみちゃんには私の
オナホになってほしいんですよ♡

…お…なほ…?

ヤミちゃんの穴と…う穴を
私のおチンポ専用玩具にする…う…ですぞ♡

わかりました…
殺します…



——何を言っているんですか？
思つたより効き目が遅いですね。♡

いくら何でも校長…変じやないですか？

これに惑ひたらしばらく馬鹿なことは
言わないほうが身のためです
次は本当に殺しますよ

まったく…
いつももまして気持ち悪いですね…

んぐ…ふふ…相変わらず手厳しい

——そんな……バカな……!!

ヤマちゃんの体……ナノマシンと言いましたかな?
ハッキングツールをいたたいたんですぞ♡

からだが……いっ……
な……にが……ツ

んふふふ……ふうやくですか……
不良品だと思って心配しましたわ♡

ん……つ?
ん……ツ?





あのヤミちゃんが...自分から
おへんツ見させてくれるなんて♡
ついに想いが通じたんですね♡

あ...ぐ...ッ
いや...なんで...ッ

うあ...ぐ...ッ
からだが...勝手に...ッ

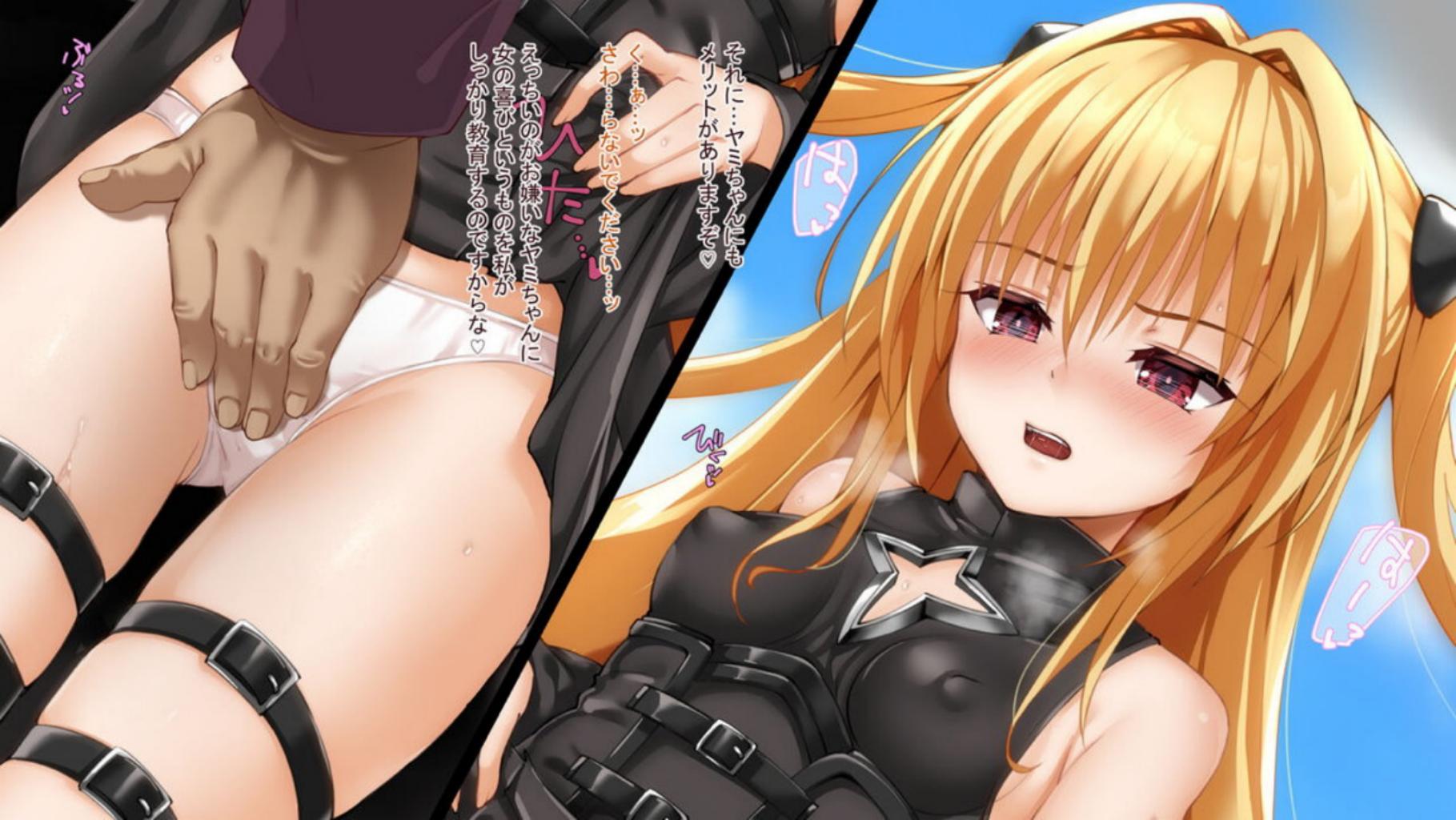
むほ...二...れはす...い...
ヤミちゃんの体はもう
私の通りに動くようですね♡

いいえ…しませんよ♡
なぜならヤミちゃんが次に自由になるときは
私の従順なオナホになつたときですからね♡
もう危険はありませんぞ♡

はい…後戻りするなり…ツ
今のうちですよ…ツ
おお…「わくですねえ♡
自由でしたら次は本当に殺されてしまうんでしゃうねえ♡

こんなことを…して…ツ
絶対に…珍します…ツ!





それに…ヤミちゃん下む
メリットがありすぎで

くあ…
さわ…ら
いなくて
ください…

えうちいのが嫌いなヤミちゃんに
女の喜びとふうものを私が
しつかり教育するのですからな

入た…

ひ

ひ
ー



おほほ…多少いじりましたが…
感度も十分ですぞ♥

ん…あ…ツ

あん…ツ…や…ツ♥

気持ちいいでしょ？
えっちゃいのは幸せなことなんですよ♥

この…ツ
いい…かげんに…ツ

う…

う…

う…

う…

う…

ゆふ

ゆふ

ゆふ

——んふ…あのヤミちゃんが涙目
少し怖かったですか？

もう…許しません！
見損ないました…
次は本当に殺します…ウ

んふ…まあまあそんな怖い顔しないで♡
もう用意はしてあるんですよ♡
その倉庫でゆっくり続きを楽しみましょうぞ♡
ね♡ ヤミちゃん♡





むふ…ヤミちゃんんこそ
私は従つたほうがいいですぞ

ふざけないでください…ツ
もう無事ではすみませんよ…ツ

こ…こ…ら
せつからくの初めてなんですから…ツ
カメラに向かつて笑顔ですぞ…ツ

ん…ッ
この…ソ
いい加減に…ツ

むふふ…どうですかな…ツ
気持ち良くなってきたでしょ…ツ

ん…ッ
ハハ
ハハ

ん…リ
ハハ

ハハ

ハハ
ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

こんなことして
いったい…ツ

おほ♡
ヤミちゃんの髪でオナニーできるなんて
夢のようですぞ♡

まあ従ねずともこうして
やみちゃんの体はもう
私の通りなのですが♡
うあ… トランクスが…
いつたい…どうなつて…ツ





おふ♡ いけません♡
興奮して少し出でてしまいました♡

…?
ひ…ッ

アハハ

ダ

ヒミツ

ヒミツ

ヒミツ

ヒミツ

ヒミツ



や…い…嫌です…つ
はなしてください…ツ

大丈夫ですぞ
ちゃんと優しくしますから

あ…?
え…?

ヤミちゃんは知らないんでしたな
私のおチ○ボをヤミちゃんのオマ○コに入れて
この赤ちゃんの元をたっぷり奥に出すのですぞ

なか…?
何を言つて…

もつたないなかつたですね
これはヤミちゃんの膣内に
たっぷり出すものですからな

いつたい…
う

か

か

か

か

か

まあまああそそう焦らずに♡

感度と腫圧を少しいじつて…

さすがヤミちゃんの処女マ●コ♡

ぴつちり閉じて一筋縄ではいきませんな♡

こんなの…入るわけ…つ

も…やめてください…ツ



あが…ツー?
い…ツ
あ…ツ

ほら♡ 入っていきますぞ
プチプチと処女膜が
破れるのがわかりますかな?♡





え…？

——おふ♡ そろそろ私も限界ですな♡

この…ウ

多少はいじつたとはいえ
初エッチでこれはヤミちゃん
才能ありますぞ♡

ちが…これ…つ
止めなさ…ツ
体…おかしい…ツ
ガク…

むふ♡ 否定する割にはすいぶんと
甘い声が出てきましたねえ♡

は…ツ
あ…ツ
んあ…ツ
ビ…ツ

く…ツ
く…ツ

く…ツ
く…ツ

く…ツ
く…ツ

く…ツ
く…ツ

く…ツ
く…ツ





——いやあ♡
びっくりするほど出ましたな♡
初めての子作りエッチの感想はどうですか？

ぐ…ラ…ッ
び…ん、
「う…します…ッ ゼッたい…ッ

もう♡
ヤミちゃんは無理ですねえ♡
エッチの後は二人で愛を語り合うのですぞ♡



あ…え…?

—今日はとりあえず
私の金玉が空になるまで付き合つてもらひますぞ♥

むふふ♡
何を言つてゐるのですかな?
ヤミちゃんはこれからずっと
私のオナホなのですぞ♡

うーん♡
もういいでしょ…ッ
そろそろ…解放してください…ッ
やはり少しきこちないですなあ♡

ん…う…ソ…
この…ど…ま…ン

ほらせつかぐの
初エッチ記念ですから♡
カメラに笑顔でボーッですぞ♡

やがれ



おこ…ツ！？ も…い…ツ
いきます…ツ♥

でしたら教えたとおりにするんですけど
私と一緒にイレたら今日のところは
許してあげますぞ♥

お…ツ♥
も…ツ♥ やめ…ツ♥
おかしく…なります…ツ♥

憎まれ口も出できませんねえ♥
さすがに感度5倍はまだ早すぎましたかな♥

お…ツ！？♥
んあ…ツ♥
うお…ツ♥

—いいですね～
ずいぶん下品な声が出来るようになりましたぞ♥

スル

スル

スル

スル

スル

スル

スル

スル

スル





——抵抗は無駄ですぞ♡
まあやミちゃんは物覚えが良さそうですから
どんどん調教を進めていきますぞ♡

こ...の...ツ♡
い...やあ...ツ

ぐ...う...ツ♡
まだ...からだ...変...ツ♡
もどして...くたさい...ツ

かかく

むふ♡ それはできませんぞ♡
こうやうで少しずつ感度をあげて
最終的にチ●ポの香りだけで
イキ散らす淫乱にオナホになつてもらうのですからな♡

——ついに一人でいけましたねえ♡
ヤミちゃんの処女マ○コ
どうでもおいしかったですぞ♡



それともこの場で裸にさせて
えつちいダンスをしてもらつ「ども
できますぞ、

ぐ・ッ この・ッ

おや？ そうでしたかな♥
では次はそのおパンツを下るして
可愛いお尻を見せてください♥
させたんでしょう…♥

むふ♥ こんな公共の場で
おパンツ丸出しにして♥
ヤミちゃんは大胆ですねえ♥



な...?
は...?
大丈夫ですぞ
ここは特殊な車両...
いわゆる痴●電車でしてね...
たとえヤミちゃんの痴態がバレても
みんな温かく見守ってくれますぞ

おほ...
これは背徳感が...
ありますねえ

もう...いいでしょ...
だれかに...見られて...
しまいます...
ハハハハハハハハハハ



おつと
さすがに声は少し抑えたほうが
いいかもせんな
これ
むり
です
刺激が
やめなさ

例えばホラ
こんなことをして
大丈夫だという事です
あ…！？
なに…考えて…

びゅ
びゅ
びゅ



ぐ…の…「りは…ッ
みうつ…です…ッ

なぜ…そんな…と…ッ

ちょっとしたゲームですぞ♥
もちろん罰ゲームもありますからな♥

ふ…ツ♥ い…ツ♥
勝手な…二とを…ツ

とこでやミちゃんは今
いくつのおもちゃをケツ穴から
ひり出したか把握していますか?
残りがいくつか覚えてますかな?

いけませんねえ♥

そんなに甘い声を出しては

寄つてきた痴漢に

犯されてしましますぞ♥





それでもお尻で派手に
イッてしましましたなあ。さすがに気づかれて
しまったかもせんぞ。

ん…ツ♥ ラ…ツ♥

残りは五つですぞ。こんなに飲み込んでたんですね。



この際なので周りの方にも
私のヤミちゃんオナホを自慢したく
なりましてね♥

ここからは我慢は必要ありませんぞ♥

むふふ
ずいぶんお尻の穴も
広がるようになりますたな
中はズアツのトロトロですぞ

あう…ツ
な…にを…ツ…?

ふふ



こうやって背中側を乱暴にコリコリすると特にいい声が出ますな

はい
やみちゃんの弱点はココですな
気持ちいいでしょ

やめ…ッ
これ…声…でちゃ…ッ



むふふ♡ それにしても
ぐつぼりと開いたいやらしいケツ穴に
なりましたなあ♡
ここ数日の成果ですぞ♡

あ…うん…ツ♡
これの…何が楽しいんですか…ツ

まあまあそんなに怒らないでください
ヤミちゃんにも今にこの
素晴らしさがわかりますよ♡

い…いから…ツ
はやく…おわってください…ツ



ついにヤミちゃんのケツ穴処女を
いただきますぞ♡

う…嘘ですよね…ツ
そつちは…ちが…ツ

いやいや♡
ヤミちゃんのえつちい穴を見てたら
私も我慢できなくなっちゃいましてね
な…ニ…ツ
だしてるんですか…ツ
…♡



大丈夫ですぞ
苦しいのは最初だけですから

ん…ツ グラ…ツ
や…ふかいです…ツ
とめて…ください…ツ

んふふ
さすがにこれだけ準備すれば
私のチンポも受け入れれる
ことができますな



んふ
ではそろそろ一発ヌかせて
もらいますぞ
あん…う…ツ
これ…やめ…ツ
あたま…へんになります…ツ

腸液も「んなに溢れさせて
いけない子ですねえ」
ん…あ…ツ
い…ツ
あ…ツ
おふ♥これはすごい♥
入口は狭く中は柔らかく
まさに名器ですぞ♥

ン／＼

ン／＼

ン／＼

ン／＼



うわー

うわー

うわー

うわー

うわー

うわー



まあヤミちゃんにも
すぐに理解できますぞ♡
なにせこの電車はまだまだ
到着しませんからな♡

ばかに…しないでください…
そんなわけ…ないでしよう…ツ

それにしてもヤミちゃん
初オマ●コよりも感じてますな?
私が何かするまでもなく
ヤミちゃんはアナル好きの
えっちい女の子だったのかも
これませんな♡

は…ツ くうう…ツ ハ…
…

いやあたくさん出てしましましたなあ♡
いい初体験になりましたね♡

いやあ♡
これは名器ですなめ♡
家にお持ち帰りしたくらいですよ♡

お断りですぞ♡
ヤミちゃんは私のオナホですからな♡
今日はあくまでレジタルですがらな♡

おめでた

わかっていますとも♡
それにしてもこの子
可愛い顔してずっとケツ穴で
イキっぱなしですねえ♡

ではまだ順番待ちも
いるようですからサクつと
抜かせてもらいますよ♡

思つた通り♡
ヤミちゃんにはこの衣装が良くお似合いですぞ♡

ーん…つ

また：こんな格好させて…
今度は何のつもりなんですか…

相変わらずつれませんな♡
毎日のように愛し合っているのですから
そろそろ心を開いてくれてもいいのですぞ♡

バカなことを言わないでください
何をされても…
あなたのようないに
私が困ることなんてありませんよ

ま
ま

ま
ま

またそんなことを言って♡
ヤミちゃんもまんざらでもないでしよう?
なにを...

最近はもうこちゅらで感度をいじらなくでも
ずいぶん感じやすくなりましたからな♡
今だつてもう体がうずうずしているでしよう?♡

そんなわけ...
ないでしょ...♡

ではしつかり自覚させてあげますぞ♡
ヤミちゃんがすでに
とうてよコッチな女の子だといふことをね♡

ひ
ま



アキラ
ラシ

う…く…
好き勝手に…

おや…?
まだ服をはだけさせただけですぞ
見られるだけでこのありさまとは：

それでは…そっですね
いつもは私ばかり楽しんでいますからな
今日はヤミちゃんにしつかりと
えっちの楽しみ方をレクチャヤー
するよにしましょう♡

一々…

は…あ…?

一では、今日はこれを使いますかな♡

すーいでしょう♪
この大きさに形…ヤミちゃんの大好きな
ケツ穴も同時に責められる一品ですぞ♡





ぐ…お…おおき…ツ
ぐ…お…おおき…ツ

そういう割には
オマ●コにこうやってほら…
こすりつけるだけで愛液が
溢れますぞ♡

ち…が…つ
これば…ツ

受け入れ準備は万端…
ということですな♡
では一息に奥まで入れますから
しっかりと一口目を楽しむのですぞ♡





う…ん…んう…シ♥

い…う…こ…かさ…な…い…で…ツ
お…く…ツ…あ…た…つ…て…ま…す…か…ら…ツ♥

むふふ…シ♥

いい…で…し…ょ…コレ…シ♥
イボイボを引…掛…ける…た…び…に…腫…が…震…え…て…
感…じ…て…る…の…が…ま…る…わ…か…り…で…そ…シ♥

ん…な…あ…ツ
そ…ん…な…わ…け…ツ♥

でもまだこれは準備段階ですか…うな…シ♥
こんななことでは最期まで持ちませんで…シ♥

な…に…を…言…う…て…ツ♥

では気をじっかり持つのですぞ…シ♥
—スイッチオン…シ♥





むふう：♥
いつたまま戻つてこれないですな♥

ん…ぎ…つ
や…め…これ…ツ
はげしすぎ…ますから…ツ

ヤミちゃんは相変わらずボルチオが弱いですね〜
この様子でしたら「次の段階」も
しっかりと楽しめてこうですな♥

こうして赤ちゃんの部屋の入り口を
ゆっくりほぐして

つ・き・ン?

アリ
ナガ
ミツ

——はい…子宮に入りましたぞ♡





—今までとは桁違いの快樂でしたでしょう?
これを覚えてしまったらもう普通のエッチでは
満足できない体になってしましますな♥

さすがのヤミちゃんも
すっかり呆けてしまいましたねえ♡
さすがに刺激が強すぎましたかな♡

は…あ…ツ♥
では次はもう少し優しくしてあげますぞ♥
ヤミちゃんが素直にえっちを楽しめるようになるまで
ゆっくりと♥

なるまで

—— そうですぞ♡
しっかりと乳首、オマ○コ、肛門の刺激を
集中して味わってください♡

いい感じですね♡
これだけしても気絶せずに
意識を保てるようになつてきましたな♡

—— ではこんどこそ
しっかりと私のカウントに合わせて
いくのですぞ♡
出来たら今日は終わりにしてあげますからな♡
ハイ、3、2、1♡





なになに?
リトの名前で興奮した?
妬けるな♡

う…ウ…ツ♡
オグ…ウ…ツ♡
すげー乳首だけでイッてんの?
こんな姿リトには見せられねえよなあ♡

いやーしかしあのヤミちゃんが校長の愛人で
しかもこんな変態趣味だったなんてなあ。。





もしかして今更状況わかつた?
そういうやさしいぶん人も増えてきたな♡
ヤミちゃん目立つからもうこの町歩けねーかもなあ♡

…は…あ…ツ♡
あ…あ…ツ♡

さーてそれじゃあヤミちゃんは
どんな顔してんのかな? と



まあどうでもいいか♡
俺はまたヤミちゃんのマンコ使えりや満足だし♡
また処女膜再現するヤツ頼むわ♡

…う…猿山くん…ツ
もう…やめてください…ツ♡
これは…むりやり…ツ♡

え…? 何言ってんの?
こんなに濡らしとして嫌だったらヤミちゃんならすぐ全員ホコボコにできるつしよ
そついうフレイ?

——ホントにこんなかわいい子を
僕みたいな浮浪者に使わせてくれるなんて♡
猿○くんだけ本当にいいの？

いやうすよ
たまに本物のものも♡

やつた♡
名前は…知らないけど今日はよろしく
たつぶり犯してあげるからね♡

あーおっさん
ゴムだけちゃんとどうけてね
この子校長のベットつすから
わかってるよ♡
それじゃあ入れるからね♡

——おほ♡
すう♪ 遊んでる割にオマ○コさう♪

ん…つ♡
…ハ…ツ♡

ん—とくじゆうびの子
しゃべらながのい



いや?
嫌がってるふりつすよコレ
声が聞きたきや命令すればいいうすよ
きつちり縛けてあるらしいんでき
そつなんだ♡
ねえねえおじさんのチ○ボどう?
すうごく大きいでしょ♡

ふ…つ♡
…んう…ツ♡



——ほーら 奥まで入った♡
子宮コツコツしててのわかるかな♡
どんな感想? 気持ちいい?

もう…ぬいで…ください…ツ♡
きもちよく…ないです…ツ♡

えーそうなの
その割にオマ○コきゅんきゅん
締め付けてくるけどなあ♡



これで喜んでるっすよ
ほら「命令」だぞ
ちょっと答えてあげような♡

う…す…く…おつき…です…ツ♡
子宮が「リヤリ…っふされて
すぐ…いつちやいそうです…ツ♡

うわ♡ すこい豹変♡
催眠術みたいだね♡



—それじゃあオジサン
がんばっちゃうぞ♡



うんうん♡
だいぶ馴染んできたね♡
それにしてもこんな名器じや
もう安い嫌じや満足できないなあ♡

はやく…おわって…ください…ツ♡
も…くるし…ツ♡



おつほ
弱点だけにすごい反応だねえ
ぶるぶる痙攣してほんとにオナホみたい

やばいわ♡
おじさんもすぐ出ちやいそ♡
もつたいいからゆっくり楽しもうねえ♡

——そ、そ、そ、喉奥でね
わかつてんじやん

——う、う、う、お口に集中してこうちが
ゆるくなつてるよ

そういう時は思い切り
子宮潰してやつたら締まるっす

くわくわ

くわくわ

まあ良く借りてるんで
ほんとだいいよお
それにしてもこの子のこと
使い慣れてるんだねえ
まあ良く借りてるんで
汚いはひどくんじやないの猿〇君
それにしてあるのヤミちゃんが
汚いオッサンに犯されながらも
ロマ●コで抜いてくれるなんて
考えてみりや感激だなー

まあまあ
ちょっと
うーし
汚いはひどくんじやないの猿〇君
そんじや出すぐ

ぱいゅ
ぱいゅ
ぱいゅ

ぱいゅ
ぱいゅ
ぱいゅ

すい
すい
すい

くわくわ

くわくわ

くわくわ



あー出た出た♡
こんな射精したの久しぶりだよ♡

ふー♡
俺もすつきりしたうすわ♡
ほらいつものようには
ザーメン全部飲むんだぞ♡

メモ...
メモ...
メモ...
メモ...

メモ...
メモ...

ガガガ

レピ...
レピ...
レピ...

ボクまだ全然満足してないんだけど
コレいつまで使っていいの?
まさか一発で終わりじゃないよね?
満足するまで付き合はうよ♪
今日はそういうコンセプトの動画
撮りに来ただんで♡

やったー♡
それじゃあ今日は帰らないからね♡
えーと、ヤミちゃんどういうんだうけ?

どく...
どく...
どく...

ドカドカ

—いつまでやつてんすか♡
てがさすがに絶倫すぎでしょ♡
どんせん具合がよくなるもんだから
いくらでも出せちやうよ♡



——もうゴムもないっすよ♡

外で出してるから
ナマでもいいでしょ♡

可愛でうに♡
校長にお仕置きされるの
ヤミちゃんなんすよ♡



びく



まあ確かに♡
じゃあ僕にはなんの
問題もないね♡

ぱーん

びく

ぱーん

ぱーん

うわ♡ ずつる♡
じゃあ僕もいいよね♡

実は俺もよく膣内出しまで
してるんすよね♡

たっぷり

子作り

セックス

楽しもうね

ね♡

うわ

——日が暮れてきたうすよ♡
どんな体力してんすか♡

ヤミちゃんのフタ声聞いてたら
まだまだ精子作れるよ♡

うーわ♡
しっかしさすがにこれは

いくら美少女でも台無しなねえ笑



いやペソとかフックとか
持ってきたの猿山○君でした笑

似合うと思ったんすよね♡
それにフタ声で鳴いてんのは
オッサンの『命令』のせいでしょう

まあね♡
よーしもうひと頑張りしちゃうで♡
絶対孕ませてあげるから
ザーメン子宮でしっかり受け止めてね♡



أَنْتَ

أَنْتَ

أَنْتَ

أَنْتَ

——ようやく綺麗になりましたねえ
どこの誰ともわからない精液まみれ
でしたからなあ♡

こんどは…なにを…ツ
言うことは…聞いているでしょう…ツ

猿○君に貸し出しましたが
オマ○コまで許可した覚えはありませんからな
もちろんお仕置きですぞ♡

あれは…私のせいじゃ…
彼らが…ムリヤリ…ツ

でも犯されて
中出しだけでも20回ほど
絶頂しましたな?

な…あ…ツ

全部お見通しですぞ♡
ヤマちゃんのナンマシンの状態は
すべてセシタ～しておりますからな

—それだけエッチになつたのは
喜ばしいですがね♡
ご主人様のオナホを勝手に
他人に使わせるのは感心しませんな♡

——なので浮気なヤミちゃんには
そろそろ普通のおチ○ボ
では満足できない体になつてもうおつかどり

う…あ…ツ
な…んですか…それ…ツ

協力者の方にお願いして
トランクス能力で作っていただいた
特性触手チ○ボですぞ♡

いや…ツ
いやです…それ…ツ

じ…
まほ

——ほらこうやって自由に動かして
ヤミちゃんの膣内を
擦ることもできますや。

ひ…う…ツ
「むる…いわです…ツ
なかで…う」かないで…ツ
な

おや♥ 震えでありますぞ♥
ずいぶんしおらしいですな♥
あのヤミちゃんでも
苦手なものがあるんですね♥

はいって…んなで…ツ
おく…ツ

いやあ…ツ
も…やめ…ツ
まあまあ安心を…ツ
今のヤミちゃんであれば
すぐヒコレなしでね
いづれなくなりますや♥



——むふ♡ そろそろ慣れて来ましたかな? いつも甘い声が聞こえてましたで、

ちが…「れ…ウ 気持わ…ヒ…」ぱっかり…ツ

じじでしよう♡ ヤムちゃんの腰を占めを
まじめに責められるようにな
しておりますからな♡

や…も…ツ…
こんなので…イ…ツ…
イ…ぎます…ツ…

「もう少しダメですで、
お出直さないで何一人で
いじつてしまへんですか?

まだまだ
我慢ですぞ
「れ…ウ…リ…です…ツ…

——本番はこれからですからな♥

ひ…や…ツ♥
何か…おしり…あたうて…ツ♥

せっかくアナル用の触手も
作ってもらいましたからな♥
コレでヤミちゃんの大穴を
はじめて使えるようになりますぞ♥

あ…まつて…ツ♥
いま…そんなの…ツ♥

ヤミちゃんはケツ穴のほうが
すこしいキ方しますからなあ♥
ここからは自由に乱れて
構いませんや♥



おう…おう…は…ツ
ま…れ…ず…ヒ…ツ
その表情…むほ
ヤ…ちゃんのイキマ○コニアナルの締め付けが
同時に味わえるとは幸せですね♡

お…深…ツ
このイき方…らめ…ツ
もじうて…これな…ツ
おほ…私もそろそろ一度出しますぞ





あ…つ…ッ
あ…う…イ…ッ

と
ふ

おふちゃんの中はぐくらでも出せますなあ
たっぷり飲むんですぞ

まつて…
一…
これ…
ハ…
ハ…

ふむ
まだまだ出でうですな
このおふちゃんを私の
ザーメン出ししてあげますぞ

——おふうう♡
もう十分くらい射精してますかな

——すこぶるうれしかったんだ
いけそうですね。『』

おう・し・ン
う・う・ン

10

四
八

1

七

10

10

ふ♥ すっきりですな♥
一度の射精でこの量♥
さすが特注の触手チ○ボですな♥

おうぐ…ぐるし…ツラ
いま…ぬいたら…ツラ
…

こほしてはダメですぞ♥
こまん人様のお仕置きサークル
しっかり味わってください♥

むり…です…ツラ
こんなの…もう…ツラ

そのまま一時間我慢出来たら
今日のお仕置きは終わりですからな♥
頑張るんですけど♥
ぐ…ゆるして…ください…ツラ
も…でます…ツラ
あ…ツラ…が…



——ふうう♥
五回目の射精ですぞ♥
次こそはしうかり漏らさず我慢するんですぞ♥



ダメですか
この有様では今日は帰れなさそうですね
ヤミちゃん♡

ヒツジ

ヒツジ

ヒツジ

ヒツジ

ヒツジ



――むふふ♥
お待たせいたしましたな
こちらですぞ♥

――ふむ
その様子だと上手くやったようだな

おかげさまで♥
いたいたハッキングツールのおかげで
たっぷり楽しませてもらいましたぞ♥

それはなによりだ
まずは『モノ』を見せてもらおうか

べ…

——ほう
あの殺し屋の「アーヴィング」の無様な姿を
見ることにならうとはな

ご満足いただけましたかな♡
今も私の特性触手で調教を
続けておりますぞ♡

我々では近づく前に察知される
お前に任せて正解だったようだな



——さてどんな気分だ？ 金色の闇…
「これからお前は宇宙の異端で
売られる事になるわけだが

ふむう
今度のヤツがやさしくない間に仕立
ないかもしれませんな





「…まさかここまで壊れているとは
…修理が必要かもしれない

…まさかここまで壊れているとは
…修理が必要かもしれない

その「…」なのですが…
私にもう少しやみちゃんを預けてもらえませんか？

悪いがそれはできんな
『これ』に恨みを持つものや欲しがるものは
いくらでもいるのではな
現状でも予約待ちの状況だ

ふむ…
残念ですなあ…

残念ですが、ヤミちゃん
お別れのようですな♡

安心しる
条件は忘れてはいない
『コレ』の今後の記録もすべて
お前に届く手はずになっている

むふふ♡ そうですか♡
自分で調教でさきないのは残念ですが
愛しのヤミちゃんが
他人の手で壊されていくのを見るのもまた
興奮しますねえ♡

ヤmちゃん
→それでほんとうなら

メ...コ...リ

